

ひと まち 輝く

キラリ[★] kirari

箕面市立みのお市民活動センター

(指定管理者:(特活)市民活動フォーラムみのお)

〒562-0013 箕面市坊島4-5-20

みのおキューズモールWEST1-2F

TEL. 072-720-3386 FAX. 072-720-3387

<http://www.shimink.jp/>

Vol. 10

令和4年(2022年)3月発行



トピック

市民参加でまちを面白く。
公共空間をみんなで使いこなす楽しみ
何気ないおしゃべりがスタートライン

兵庫県立 人と自然の博物館 研究員
福本 優さん



市民参加でまちを面白く。 公共空間をみんなで使いこなす 楽しみ

博物館の研究者、まち歩きガイド、公園でコーヒースタンドのマスター、公共空間活用事業のアドバイザーといろいろな顔をお持ちの福本優さんに、これまでのこと、公共空間の楽しみ方など、お話をお聞きしました。

大学で知った、まちを見る面白さ

建築学科の4年生だった時、研究室のフィールドワークで大阪のいろいろなまちを見たことは、家だけが建ち並ぶニュータウン育ちの自分には衝撃なことの連続でした。自動販売機で豆腐を売っているなんて、誰が補充しているのだろう？ マンションの横に工場があり、機械の音が生活空間に溶け込んでいる。そういった、人々の暮らしぶりを感じられるまちの面白さに気づいて、まちづくりに関わりたいなと思いました。しかし、その頃には既に住宅メーカーへの就職が決まっていたので卒業してからは住宅の建築現場の監督をしました。「ハウスメーカーは様々な顧客のニーズに合わせて多様なデザインで住宅を作れるのに、どうしてまちは良くならないんだろう？」と疑問を持ち、4年生の頃に感じた、まちを面白くすることをしたい。そんな思いで大学院の試験を受けて研究室に戻りました。

仕事も遊びもまちづくり目線

大学院時代は、「みんなの不動産」という大阪市内の不動産会社でも働き、物件のスペックだけでなくその街や部屋から見える景色など個性を見つけ魅力にする仕事をしていました。また、ただ区画が埋まれば良いというだけではなく、どの空間でどんな使い方をする人に入ってほしいかを考えてビル全体のリーシングのお手伝いもしました。そんなことを複数のビルオーナーと一緒に沿道を含めて考え

れば、不動産を通じたまちづくりになります。まちのどこを、誰が、どんなふうに使いこなすと楽しいかを考える、この頃の経験が今やっていることに活かしています。

また研究室として、公園で利用者の声を聴きながら淹れたてコーヒーをふるまうスタンドや好きに移動できる椅子を置くという社会実験もしました。使いにくいと言われる公園も、いかに使いこなすか、その空間のポテンシャルを探るのが楽しいです。

今は県立博物館の仕事として、ニュータウンや地域づくりの研究をしたり、歴史スポット歩きのガイドや公園運営のコンサルティングをしていますが、勤務時間だけではなく、家族と公園に行ったり、よそのまちに行っても常にそういう目線で見えてしまいます。ある意味全部仕事で全部遊びですね。

公共空間を使いこなすって？

公共空間を使いこなすというと難しいことのように聞こえるかもしれませんが、例えば、河川敷で花見をするとか、ガードレールに腰かけておしゃべりすとか、既に皆さんは公共空間を使いこなした経験があると思います。知らないうちに場を選んで、場のポテンシャルを引き出しています。でも、大人になるとなぜか自制心が働いてできなくなっちゃってる人が多いのではないかと。でも、ダメなのは本当？なぜだっけ？社会実験はみんなで「これいいやんね！」を再確認することでもあります。実はやって

みると意外とそんなことないのに、『誰かが「やっちゃダメ」って言うと思います。』という雰囲気があるように思います。「いや、誰かって誰やねん！」みたいなの。ために公共空間をみんなで使うことで、まちが少しづつ「できない場」から「できる場」に変わっていけばいいなと思っています。

そんな福本さんとは、2019年にみのお市民活動センター主催の講座「出会いと居場所の生まれる公共空間」の講師をしていただいた時からのご縁です。2020年度には福本さんをアドバイザーに迎え、かやのさんぺい橋など、かやの中央周辺の公共空間のあり方や市民参加を考える研究会を立ち上げました。これまで、社会実験としてかやのさんぺい橋で巨大なお絵かきボードを設置したり、日替わりマスターこだわりのテーマで交流する「Bar Bridge(バーブリッジ)」を開催するなどしてきました。2022年度もこうした社会実験や勉強会の場を開いていきますので、みなさんのご参加をお待ちしています。

(書き手:スタッフM)



Bar Bridge(バーブリッジ)の様子



福本 優さん Information

箕面市在住。兵庫県立 人と自然の博物館 研究員。専門分野は都市計画。

高校時代には気づけなかった箕面のまちの魅力を発見して歩くのが楽しみ。

かやの中央での公共的空間活用社会実験や研究会に関するお問合せ先

みのお市民活動センター

連絡先: TEL 072-720-3386

Mail: minoh@shimink.jp



何気ないおしゃべりがスタートライン

箕面というまちをもっと知ってもらいたい! と、イベントでは「のぞきからくり」や「箕面駅周辺模型」など、みのおにまつわる楽しいお話をしてくださる太嶋清恵さん。空き店舗での物品販売や映画上映、滝道案内サイト作成、福祉関係の商品開発など多岐にわたり活動されています。いろいろな活動のアイデアは？ええ・みのお推進市民の会、事務局の太嶋さんにお話を伺いました。

市民活動をはじめたきっかけ

仕事で福祉施設の設計依頼を受けた際に、どうしたら利用者が快適に利用出来るかどうかを考えるためにボランティアに参加したのがはじまりです。長い間仕事とボランティアを続けていました。そのおかげで次第に活動の場を広げていくことができ、何が必要で、どうしたら物事が上手く進むのかがわかるようになったと思います。

今・活動の目的の一つ!

10年間滝道で「NPOアンテナショップ箕瀧案」を開いていて思ったのは、箕面の自然の魅力は紅葉だけではなく、夏冬もちろん春も魅力的。歴史的にも面白い場所があるのに知られていなくて観光客も紅葉の時期だけ多いのが残念。そのおかげで滝道の店が普段閉められて、悪循環で寂しい滝道になっています。一年を通して観光客を見込める手当は？とおこがましく思っています。それで皆で考えた一つが「滝道遊歩」を使って違った滝道を楽しんでいただく事です。

また、滝道で出来ればよいと思う事の一つ。国定公園というくりのある事は知っていますが、自然の川の流れが動力で、環境にやさしい瀧のライトアップや、滝道の街灯に使用しても話題の一つになると思うのですが！他にも箕面市内にはパブリックアートは見当たりませんね！あると面白いとは思いませんか！

アイデアはどこから!?

私の場合、なんでも話せる人と場所が大切だと思ってます。いつでも気軽に行ける場所。何気なく、ふらっと立ち寄れて、たわいもない話ができる場所と人。あらかじめ設定された日程や場所での会議や茶話会などでは、ひらめきやいいアイデアは出てきません。メンバーとおしゃべりして、何気ない一言から活動内容がスタートします。「こんなことがあって…」からはじまり、「こんなんあったらいいな。」になり、「なんかおもしろそう!やってみよう!私ならこれならできそう。他は誰かできない?」に。いろんな人が加わり、アイデアも改善されてかたちになっていきます。みんなと一緒に作りあげているので、アイデアは尽きないですね。



瀧道遊歩



QRコードを読み取れば、箕面の滝道を歩きながら周辺の名所・名物にまつわるこぼれ話が見聞きできるシステム

太嶋清恵さん Information

【ええ・みのお推進市民の会】
大阪府箕面市百楽荘1-1-9
まほろ内
TEL: 072-721-1586

『マイクロプラスチック・ストーリー』 上映会を開催しました。

12月17日、みのお市民活動センターで『マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る2050年～』の上映会を開催しました。この映画は、ニューヨークの小学生たちがプラスチック汚染問題を学び、学校のカフェテリアや、街路、砂浜へと出かけ、ゴミを拾ってデータを集め、学校やまちの人、市議会にプラスチックゴミ削減の取り組みを提案していく、そんなドキュメンタリー映画です。

上映の後は、ニューヨーク在住の共同監督の佐竹敦子さんとオンラインでおつなぎし、映画製作の思いや背景をお聞きしました。舞台となった地域は経済格差も大きく、シェルターに暮らしたり、困難な状況にある家庭も多いそうです。「試練が多い人生を歩むことになるであろう子どもたちだからこそ、声を上げたら聞いてくれる大人がいること、社会は自分たちで変えていけることを知ってほしい」という言葉が印象的でした。



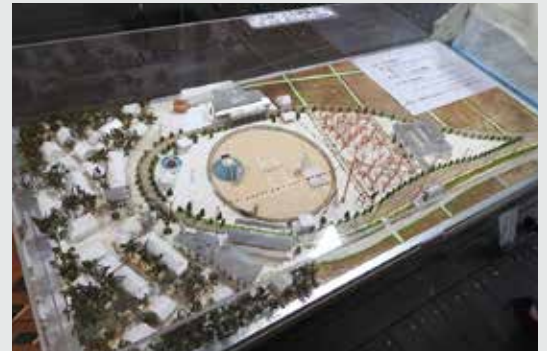
【参加者アンケートより】

- ・子どもたちが問題に目覚め実践し、自治体を動かしていく過程が素晴らしいと思いました
- ・子どもたちの持つ力を引き出す為のおとなのかかわり方など参考にしたい
- ・化繊の服の問題が考えさせられた

クイズコーナー

この写真は、内面の記事でご紹介した「ええ・みのお推進市民の会」が作成した、100年以上前の箕面市内のある場所を模したジオラマです。どの場所でしょうか？

ヒントは内面ページにあります。



正解は「かやの広場」です。このジオラマは、箕面市史資料館に所蔵されている。かやの広場の歴史を伝えるために、このジオラマが制作された。かやの広場は、箕面市の歴史を伝える重要な場所である。かやの広場の歴史を伝えるために、このジオラマが制作された。

インフォメーション

「みのお市民活動グループガイド2022」発行!

【内容】箕面市内の市民活動団体の基礎情報
市民活動・ボランティアQ&A 他

みのお市民活動センター、箕面市役所 人権文化部 生涯学習・市民活動室、箕面市社会福祉協議会ボランティアセンターで無料配布を予定しています。

ご希望のかたは
みのお市民活動センター まで
お問い合わせください。



【発行】
みのお市民活動センター
【編集】
特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお
【編集協力】
社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会
箕面市社協ボランティアグループ連絡会

市民活動 フォーラム みのお

みのお市民活動センターを管理運営するNPO法人です。様々な課題に取り組む市民活動の応援をしています!

センターではこんなサービスを提供しています!

誰でも使える…印刷機、コピー機、貸会議室等
非営利公益市民活動団体が使える…年登録制:
事務ブース(貸事務所)、倉庫、ロッカー、メールボックス

団体のお困りごとに答えます!

活動支援「夢の実支援金」…団体の立上げ、事業の拡充を資金面で応援します。
団体の運営課題の解決…事務力、広報力などのスキルアップ講座を開催しています。
その他ホームページ、SNSでさまざまな情報発信をしています。

社会課題に取り組んでいる活動をアピールしています!

市民活動の紹介や被災地復興支援のイベント、市民社会講座やフォーラムを開催しています。

何かしたい!役立てたい!という思いに答えます!

ボランティア情報サイト v-info…ボランティア情報を発信しています。
NPO広報サポーター promo…団体の取材を通してNPOの活動を体感できます。
NPO・市民活動を紹介する冊子の発行等情報提供しています。

当法人のネットワークで、いろいろな分野をつなげます!

市民活動と企業、店舗、学校などと連携することで、強みを活かした活動につながります。

